

既に遅くして要を爲さず、其の休刊を憾みたる事實あり、同年歳晚號に特に其の署名を以て社説を草し新聞紙本來の使命が一日の休刊をなすべからざる事を力説し東京日々が聯盟休刊に與みせることの決して社長の本旨に非ざりしを述べ且陳謝して將來再び是を繰返さざるべしと讀者に誓約せり。以後東京日々は一朝有事の日に備ふべく古參職工を拔擢して、社長若くは準社員の待遇を與へ之のみを以て市内版を草するに充分ならしめたるなり。

今回の事件突破するや和合亭に於ける新聞聯盟協會は一社にても休刊せざるべからざる事情に際會せば擧つて聯盟休刊をなすべしと云ふに傾き朝日は「他の一社にても發行する限りは之に應じ難く」とせるも勿論聯盟休刊に對して異議なかりき。

東京日日社幹部は情誼上聯盟休刊に賛し同社の幹部會又之に異議なく、本山社長に訓電を請ふこと數回に及びたりしが、本山社長は之に對し前記歳晚の辭を讀むべし、余の所信は變せずとて頑として之を容れざりしため、萬朝報が聯盟休刊を求めしとき日日幹部は進退兩難に陥り、遂に休刊説に反對して萬朝報をして單獨窮地に立つの餘儀なからしめしなり

將來「東京日日は總罷業を受くる曉に於ても大阪本社職工を招いて、新聞を作る計畫を有せるがため聯盟に加はらざりしなり」とするは印刷工場の実情を知らざるもの、説として一顧にも値せず、寧ろ聯盟が東京日日に對して日日社の社員及準社員待遇の職工を以て聯盟版を發行せしめ各社の讀者に配付せしめよと要求せば日日社は社長の主義に背かず一面聯盟規約に添ひ得しを以て容易に之を容れたるべきも、斯の如きは各社の發行紙を公開することなるべきを以て行はれ難く又茲に到らざりしなり

さり乍ら東京日日が執れる此状態は今後新聞の聯盟休刊の行はれざるを裏書し事實上新聞聯盟協會を骨抜としたり。